

# 武豊町地域公共交通会議 第14回 会議 議事録

日時：平成26年1月27日（月）

13:30～15:30

場所：庁舎2階 第2～4会議室

## 1. 会長あいさつ

### ○事務局

- ・それでは時間となりましたので、ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第14回会議を開催させていただきます。
- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。企画政策課竹内です。
- ・開会にあたりまして、会長であります、町長の初山からごあいさつさせていただきます。

### ○初山町長（武豊町長）

- ・こんにちは。日頃は大変お世話になっております。14回会議に出席賜りありがとうございます。
- ・4名の委員の交代があります。後ほど、委嘱状をお渡しさせていただきます。
- ・コミュニティバスの利用状況ですが、昨年10月に10万人の利用を達成し、12月末時点で106,640人、1日平均97人となっています。
- ・乗合タクシーですが12月末の時点で1,303人の利用がありました。9ルートに事業拡大して利用拡大していますが、引き続き、利用者数の拡大が重要と認識しています。
- ・地域公共交通総合連携計画が5カ年計画となっており、平成26年度に計画の見直し作業を進めます。協働推進事業として地域の協力を得ていく補助金が創設されており、この活用も想定しています。平成27年4月からスタートする計画を改定します。
- ・本日は、4つの報告事項と2つの協議事項があります。慎重なご審議を賜りたいと考えます。
- ・今年が町制60周年です。町民の皆さんと節目をお祝いしたく、イベントに参加、協力をお願いしたい。
- ・本日はよろしく願いいたします。

## 2. 委員委嘱

### ○事務局

- ・「新しい委員の委嘱等について」であります。お手元の「武豊町地域公共交通会議委員名簿」をご覧ください。
- ・名簿の2番の則政さん、3番の中野さん、4番の石黒さん、19番の中川さんに新しくメンバーに加わっていただきました。

<委嘱状交付>

○事務局

- ・本日は、委任状を3名の委員（名簿番号13番、18番、19番）の方からいただいております。代理出席していただいておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・また、1名の委員（名簿番号14）の方から欠席の報告を受けておりますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規約に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。
- ・この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせします。それでは、伊豆原先生、恐れ入りますが、議事のとり進め、よろしくお願いいたします。

### 3. 議事

○伊豆原

- ・それでは、議事のとり進めをさせていただきます。みなさまのご協力よろしくお願いいたします。本日は、報告事項4件、議案2件があります。

●報告事項1 町民アンケート調査結果について・・・・・・・・・・資料1

○伊豆原

- ・報告事項1「町民アンケート調査結果」につきまして、事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。町民アンケート結果を報告いただきました。ご質問、ご意見ありますか。
- ・回収率50%は高いと思う。町民の皆さんは関心をお持ちだと思う。ご利用になっている方は少ないが、関心は持っていていてる。

○山田委員

- ・サンプル数について確認させてください。9ページの1510件と979件の関係について説明ください。

○事務局

- ・全サンプル数1510件に対して、通勤で外出していない人が28.5%、約500人程度あり、その通勤で外出していない人を除いたサンプルが979人になります。下の利用交通手段は通勤で外出していない人を除いた979人の回答です。

○櫻場委員

- ・15 ページの不便を感じていないかという質問について、「感じていない」との回答は、単に不便を感じていないのではなく、公共交通について関心が無い人であり、公共交通に対して満足していないと捉えることもできないか。

○事務局

- ・ご指摘のとおり、感じていない人の中に、公共交通について関心が無い人も存在する。

○伊豆原座長

- ・感じていない人と関心が無い人、それが不満に感じているかどうかという解釈は難しい。
- ・感じていない人の多くは関心がないのかもしれないが、感じていない人の自動車免許の取得状況や税負担などについてクロス集計してみるとよいと思う。

○大岩委員

- ・社会福祉協議会の係をしています。
- ・コミュニティバスの利用者の通院目的として30.9%利用しているとすれば、帰りの時間はばらばらではないか。行きはよいよい、帰りは怖いという感じになっていないかと思う。
- ・また、近隣の美浜町、南知多町などとのジョイントワークができないかと思う。

○伊豆原座長

- ・本日の議論に関係する意見として聞きおきしたい。他に意見等ありますか。
- ・無いようなので次の議事に移ります。

●報告事項2 利用者アンケート調査結果について・・・・・・・・・・資料2

○伊豆原座長

- ・報告事項2「利用者アンケート調査結果」につきまして、事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ご質問、ご意見ありますか。
- ・利用されている方で、満足度の数字が減少した。低下した点についてメスを入れていくことを考えないといけないかもしれない。生活に対する影響については、便利さ、安心感、豊かさについては認められた。利用された効果として、「運賃が安い」が大きな点だった。これは税投入と関連するが、均一料金について利用者からは評価いただいた。
- ・実施効果は、料金以外にも多くの項目からなる。私的の交通手段では感じられない、い

ろんな人とかかわりなど、数字は小さいが重要な事項です。こんな感じ方もあるということを皆さんにPRしてほしい。

○古橋委員

- ・満足度について昨年より 10 ポイント以上数字の低下があった項目もある。自由回答などで、具体的な要望・意見について、ポイントを整理していないか。

○事務局

- ・自由回答は、集計作業中です。申し訳ありません。別途報告させていただきます。

●報告事項3 交通事業者ヒアリング調査結果について・・・・・・・・・・資料3

○伊豆原座長

- ・報告事項3「交通事業者ヒアリング調査結果」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・事業者から補足することはありますか。よろしいですか。

○勝田委員（知多乗合）

- ・病院、商業施設への要望が多い。利用にあったダイヤにしていく、試行錯誤をしていかないといけない。運転手からヒアリングして、報告していきたい。

○伊豆原座長

- ・運転手が肌で感じたことを町に報告してほしい。
- ・乗り合いタクシーは、リピーターが多い。利用してもらわないとその良さがわからない。
- ・始発の工夫やルートなどの指摘を受けた。こうしたことを考慮して計画見直しをして欲しい。

●報告事項4 地元関係者ヒアリング調査実施状況について・・・・・・・・・・資料4

○伊豆原座長

- ・報告事項4「地元関係者ヒアリング調査実施状況について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・憩いのサロン、老人クラブ、利用促進友の会からご意見をいただいた。ご地元で追加、補足する意見があればお願いしたい。
- ・これで網羅できていると考えてよろしいか。
- ・要望より、乗ってもらうためのアイデア、利用してもらう対応を今後やっていかないといけない。ルート等のハード的な意見とソフト的な意見があります。すべてに対応できるとは思えないが、できるだけ対応していく。
- ・代表の皆さんには、これら意見をもちかえっていただきご議論いただければと思います。

●第1号議案 課題問題点の把握と計画見直しの方向性について・・・・・・・・資料5

○伊豆原座長

- ・アンケート、ヒアリングの意見を聞いたうえで、武豊町の方向性について考えていかないといけない。今後の対応について、来年までかけて議論していくこととなります。
- ・第1号議案「課題問題点の把握と計画見直しの方向性」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・これまでの事業の経年変化、課題把握、自己評価を行い、来年度の見直しの前提を整理していただいた。ご意見をお願いしたい。

○小林委員

- ・資料5で地域公共交通総合関係計画の方向性について、頭出ししていただいている。
- ・アンケート調査を行っていますが、分析についてももう少し詳細に行い、具体的な課題を抽出した方がよいのではないかと。そもそも利用者が多くないことが問題として、利用促進対策を進めることは大事なことです。その一方で、今の計画に示す交通体系が、町民の生活にマッチしているかどうかを確認すべきではないかと。例えば、外出機会の確認をしているが、町民の3割が町外に移動しています。
- ・そうしたことも含めて、今後の方向性を考えた方がよいのではないかと。新しい計画で、町としてのビジョンを考え、公共交通の役割を示すべき。町のまちづくり、ビジョンが重要です。その点について、ここでは示されていない。
- ・事業をやるうえで費用がかかることも承知していますが、住民の生活の足をどのように考えるべきか、ビジョンを示したほうがよいのではないかと。

○事務局

- ・アンケート調査のクロス集計を行いながら、課題を分析したい。

○伊豆原座長

- ・どのような課題を整理するかということよりはむしろ、武豊町のまちづくりについて、地域の人が将来をどのように考えるか、また、その中で公共交通の役割は何かを考えるべきです。
- ・武豊町はバスが無いところにバスを走らせた。まだ定着していない。公共交通が無かった生活習慣のところに新たにバスを展開したばかり。公共交通を使った生活の姿のイメージがまだないかもしれない。今後の地域の将来を考えて欲しい。

○櫻場委員

- ・見直しの方向性はこれでよいと思う。重要なのはいろんなことをやってみないとわからないので、トライアンドエラーしながらどんどんやるべき。だれがやるのかも重要。

○事務局

- ・事務局からお願いしたいのは、計画見直しについて細かい検討を進めたい。この交通会議の下部組織をつくり、協議をしたいと思う、
- ・住民代表、老人クラブ、利用促進友の会等の皆さんには参加いただき議論したいと思う。

○櫻場委員

- ・ぜひ、検討委員会をつくって議論したい。

○伊豆原座長

- ・大きい会議では年に何回も議論できない。具体的な議論を皆さんと行いということですがいかがか。

○小林委員

- ・平成 27 年 4 月からの地域公共交通総合連携計画の見直しが考えられています。この計画の意味として再確認しますが、事業は町が全部やらなくてはいけないものではなく、連係計画という言葉から、だれが、どんな役割を担うのか、ということも重要です。
- ・交通事業者に、また、地域の人に何をやっていただくのか、それぞれが責任を分担して進めていく計画です。具体的な事業を見直しするには、それぞれの関係者が、それぞれの役割をもって対応してほしい。
- ・地域からやれないものはやれないと言って頂き、また、やれることをご提案していただきたいと思う。

○伊豆原座長

- ・小林委員の指摘の通り、地域公共交通総合連係計画はそうした意味があります。
- ・こうした大きな会議を実施するよりも、住民の皆さんとみんなで考える、ざっくばらんに語り合っただけで計画をつくっていくことが大切です。
- ・まずは、住民の皆さんと、住民・利用者の意見を中心に、事務局は計画作りを進めたい

と考えているようです。

- ・事業を育てるのは、住民の皆さんです。役所はサポート役です。皆さんの税金を使って行う事業です。皆さんに参加していただき、共助の精神で議論をしていただきたい。
- ・こうした方向で、作業を進めることについて、よろしいでしょうか。いかがでしょうか。
- ・異議なしということによろしいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。皆さんの合意をいただいたこととして、作業を進めさせていただきます。

●第2号議案 地域公共交通確保維持（調査事業）に関する自己評価について・・・資料6

○伊豆原座長

- ・第2号議案「地域公共交通確保維持（調査事業）に関する自己評価」につきまして、事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ご質問、ご意見ありますか。評価の制度について、国から補足をお願いします。

○小林委員

- ・国の補助金を使って調査事業を進めていただいています。
- ・最初に交通会議にて自己評価いただき、その結果を国に提出してもらいます。
- ・別添2が国の統一の様式で、カラー資料は中部運輸局の様式です。
- ・今年度調査はまだ経過途中なのですが、なぜこの段階で評価してもらうのかと言うと、この評価を次年度にどのように展開するのかを反映していただくために、その時間を確保するために、少し前倒しでこの時期にしています。
- ・当初予定していた調査項目が実施できたかどうか、また、来年以降どうするかを示していただくことになっています。

○伊豆原座長

- ・国に対して提出してよいか、ご意見、ご質問をお願いします。

○小林委員

- ・制度の説明ではなく、質問・意見をさせていただきます。
- ・アピールポイントについて、利用促進友の会の活動を盛り込むことはやぶさかでないの

ですが、自己評価とは異なるので、少し切り分けて整理して欲しい。

- ・方針等について、地域公共交通総合関係計画をいつ見直しするのか、また、何年度の生活交通ネットワーク計画に事業が反映されるのかを示すべき。

○事務局

- ・ご指摘の通り修正します。

○伊豆原座長

- ・住民の皆さんとの協議組織をつくることも記入すべきだと思う。協働推進事業にも関係するものです。
- ・計画策定と事業推進（利用促進）を切り分けて表現してほしい。計画の策定を通して、協働事業が位置付けられます。
- ・他にご意見、ご質問ありますか。
- ・無いようなので、事務局にて修正事項を対応いただき、また、加筆修正は、会長一任でお願いしたいと考えます。
- ・では、加筆修正後、国に提出して宜しいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。全員の合意をいただいたとして、提出させていただきます。
- ・最後に、事務局からその他の報告をお願いします。

## 4. その他

○事務局

- ・産業まつりの無料乗車活動について報告させていただきます。11月9～10日の産業まつりにあわせて、無料乗車活動をさせていただきました。初日は雨天でしたが、合計341人の利用がありました。
- ・次に、今後のスケジュールについての報告です。第15回会議を3月24日13:30～この第2・3・4会議室で行います。次年度事業計画、補助金の事業評価等について協議する予定です。具体的な開催内容は別途通知させていただきます。
- ・その他は以上です。

## 5. 閉 会

○事務局

- ・伊豆原先生、議事進行ありがとうございました。
- ・閉会にあたりまして、町長よりごあいさつをお願いいたします。

○初山町長（武豊町長）

- ・ 慎重なるご議論ありがとうございます。また、協議事項の2点、可決決定ありがとうございます。国への報告資料について、修正等について会長一任ではありますが、ご理解ありがとうございます。
- ・ 伊豆原会長からの発言でありましたが、交通は地元住民が育てることが大切だと、これはまさに協働のまちづくりで、バス事業がまちづくりだと思いました。
- ・ 改めまして本日はありがとうございました。

○事務局

- ・ ありがとうございました。
- ・ 以上をもちまして「武豊町地域公共交通会議」の第14回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。